

アフターコロナを見据えて

交通の要衝として「道の駅」を拠点に、専門職大学とも連携した魅力ある地域づくり

# 私が考える官・民一体の「道の駅」構想



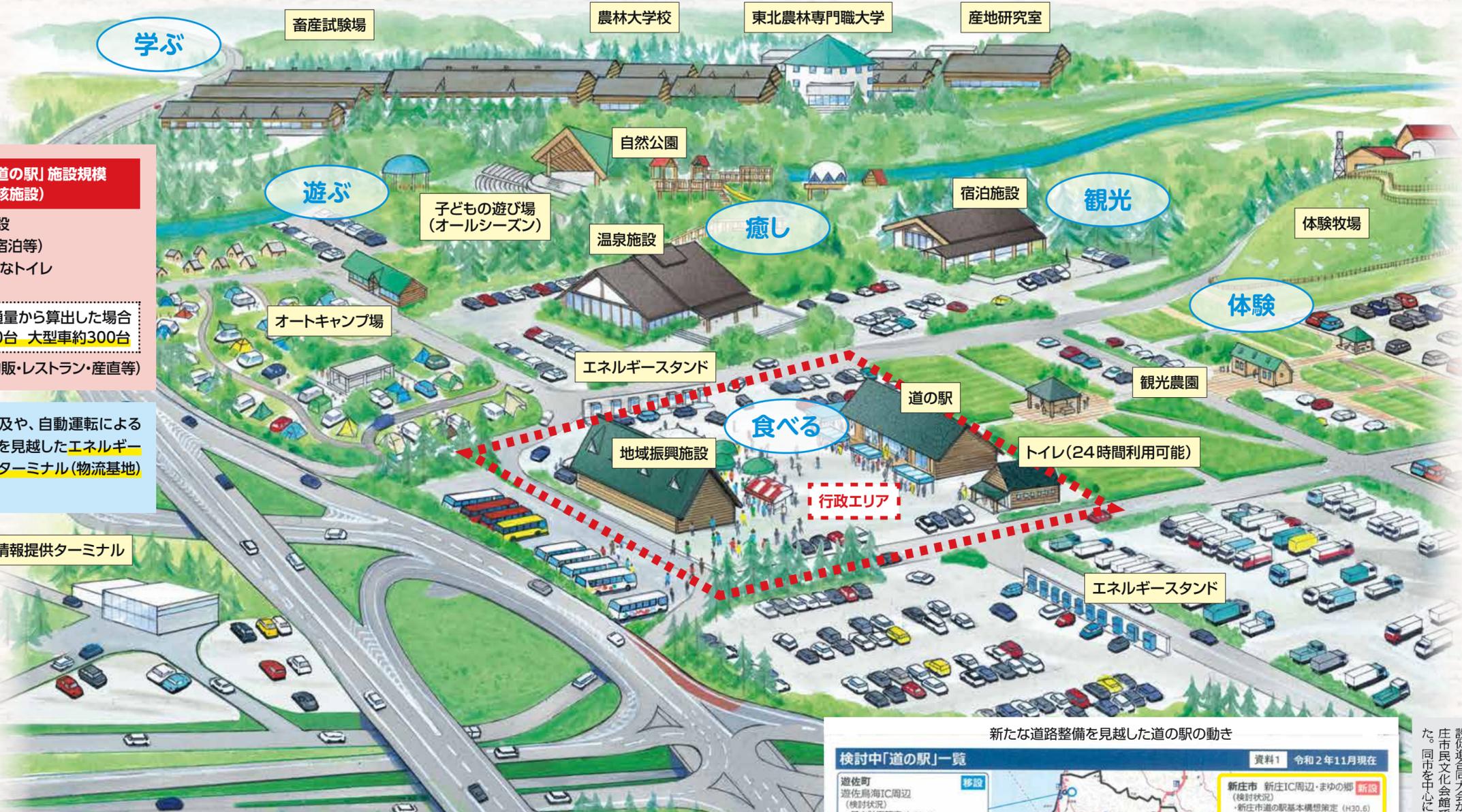
新庄・最上地域を素通りさせない!

東北中央道の開通を見込んで、沿線各自治体が新たな道の駅やスマートインターチェンジの設置といった施策を打ち出しています。私たちの地域でも山形県の「北のゲートウェイ(玄関口)」構想の検討を始めています。実現に向けて官民一体でより一層スピード感をもって取り組んでいかなければなりません。新庄市のように縦軸、横軸が見事に交差するところは県内にありません。

また、東根以北が無料区間となるため交通量の大幅な増加が試算されています。東北中央道に隣接した道の駅は私たちの地域にとってウィズコロナ、アフターコロナを見据えた生き残りのために必要です。

新庄・最上地域の皆様のご意見をお待ちしています。

- 想定される「道の駅」施設規模 (中核施設)**
- 道路情報提供施設
  - 休憩施設(温泉・宿泊等)
  - 24時間利用可能なトイレ
  - 駐車場
- ※将来予想交通量から算出した場合  
普通車約1,000台 大型車約300台
- 地域振興施設(物販・レストラン・産直等)
- 電気自動車の普及や、自動運転による貨物運送の実用化を見越したエネルギースタンド、トラック・ターミナル(物流基地)等を整備



山形中央ICから新庄ICまで約55分  
東根ICから新庄ICまで約40分  
(東根IC以北は無料区間)  
100万都市の仙台と東根を60分で結ぶR48を介して、仙台圏から100分でつながり、新庄・最上地域を巡って大崎へと至る新たな広域周遊観光が期待されます。

新庄IC(南北+東西)の将来予想交通量は、平成27年の約25,000台/日が令和12年に約40,000台/日となり、これは天童から山形にかけてのR13の交通量に匹敵します。

新たな道路整備を見越した道の駅の動き

検討中「道の駅」一覧	資料1 令和2年11月現在
<b>遊佐町</b> 遊佐鳥海IC周辺 (検討状況) ・基本計画策定 (H26.3) ・R2.9議会で用地調査等の費用を計上 ・R8年度開業予定	<b>新庄市</b> 新庄IC周辺・まゆの郷 (新設) (検討状況) ・新庄市道の駅基本構想策定 (H30.6) ・具体的な検討に向け、周辺自治体を含んだ検討会を立ち上げ (R1.6) ・R2より新庄市にまゆの郷について具体的に検討
<b>鶴岡市</b> 風か関IC周辺 (検討状況) ・基本構想策定 (H29.5) ・整備手法等について今後検討予定	<b>最上町</b> 川の駅ヤナ茶屋もがみ周辺 (検討状況) ・国土交通省国土政策局「官民連携推進調査費」に選定 (R1.7) ・最上町道の駅基本構想策定 (R2.3) ・R5年度開業予定
<b>大江町</b> 現位置【一休型】再整備 (検討状況) ・大江町道の駅再整備基本構想策定 (R2.4) ・国土交通省国土政策局「官民連携推進調査費」に選定 (R2.7) ・R2年度中に基本計画策定予定 ・R6年度開業予定	<b>村山市</b> 【一休型】村山IC～R13の市道沿い (検討状況) ・庁内組織にて、基本構想策定済み (H29.3) ・移転に向けたサウンディング調査実施 (R2.9)
<b>山形市②</b> 【一休型】山形上山IC周辺 (検討状況) ・国土交通省国土政策局「官民連携推進調査費」に選定 (H30.4) ・山形市道の駅整備構想策定 (H30.5) ・山形上山IC付近における新たな道の駅整備検討調査実施 (H30.11) ・事業認定取得 (R2.9) ・DBO方式での実施方針を公表 (R2.9) ・R5.11開業予定	<b>東根市</b> 【単独型】よつげポポロ周辺 (検討状況) ・東根市「道の駅」基本構想策定 (H30.3)
	<b>山形市①</b> 山形中央IC周辺 (検討状況) ・山形市道の駅整備構想策定(H30.5)

高規格道路整備促進に向け力を結集していくことを確認した大会  
 新庄市民文化会館  
 高規格道路整備促進に向けた大会  
 新庄市民文化会館  
 北中央自動車道の縦軸と、地域高規格道路「新庄酒田道路」・「石巻新庄道路」の横軸の早期整備を国に強く求めることを確認した。  
 「高規格道路十字連携軸の整備促進に向けて」をスローガンに最上開発協議会、各道路建設促進同盟会などが主催し19日、最上・庄内両地域や隣接の官民関係者約500人が参加した。同市を中心に交わる東

交通事故総合分析センター  
 1(東京都) 常務理事で元山形県土木整備部長の上坂克巳氏が基調講演し、「最上地域としての高速道路整備は、人口減少の克服や市町村消滅の回避のために必要」と指摘。後発優位をかし、オンラインでの道の駅整備を進めるなど、活性化を図ってほしいと話した。  
 3人の地元住民代表が高規格道路整備の意義について意見発表を行い、最後に大会決議を採択した。(斎藤敏広)